

## 超短期留学報告書

派遣者氏名：高野 祐樹	
所属・研究室・学年：物質理工学院・材料系・エネルギーコース 松本研究室 修士1年	
派遣先大学：国立台湾科技大学	
派遣期間：平成 28年 8月 16日 ~ 平成 28年 8月 26日	

- ・ この表紙を含まず、ページ数は2~4ページ、ファイルサイズは3MB以内としてください。
- ・ 研究室や宿舎内の様子の写真、図表、イラスト、滞在中のその他の写真などは挿入可です。ただし、それらを掲載する際には簡単な説明を加えて下さい。
- ・ 提出された報告書の2ページ目以降を工系のホームページに掲載いたします。また、別途、クロニクルへの執筆をお願いすることがあります。

### 報告書必須記載事項

- ・ 派遣大学の概要（所在地、創立、大学の規模など）
- ・ 所属研究室での研究概要とその経過や成果、課題など
- ・ 所属研究室内外の活動・体験（日常生活・余暇に行った事など）
- ・ 留学先での住居（寮、ホームステイ等）、申し込み方法、ルームメイトなど
- ・ 今回の留学から得られたもの、後輩へのメッセージ、感想、意見、要望

# 東京工業大学 工系3学院

## 超短期留学報告書

派遣年 : 平成28年  
氏名 : 高野 祐樹  
所属 : 物質理工学院・材料系・エネルギーコース  
派遣先 : 国立台湾科技大学

(次ページ以降に記入してください。)

## [概要]

2016/8/15～2016/8/27の期間で台湾に滞在し、台北市にある国立台湾科技大学に留学させていただきました。台湾では授業やワークショップ、工場見学などを通じて工業に関する幅広い知識を学びました。また、アフターファイブや休日は台湾の観光地や夜市などを訪れ、台湾の文化を楽しみました。

## [留学の動機]

私は燃料電池やリチウムイオン電池などの電解質材料について研究しており、エネルギーデバイスに対して興味を持っています。今回の留学では、工学分野において台湾でトップクラスである台湾科技大学で燃料電池や蓄電池についてのワークショップを受けられると伺い、期間も手ごろでしたので留学することにしました。

## [具体的な内容]

授業は月曜日から土曜日、9:00から17:00まで行われました。内容としては、プレゼンテーションスキル、産業革命4.0、製品デザイン、知的財産、色の技術、電気化学デバイスの基礎、製品開発プロセスについて講義やワークショップ、研究室見学を行いました。授業の難易度は難しくなく、専門的な知識を持っていない学生にもわかりやすい内容でした。公演される方によっては日本語で授業をしてくださり、授業内容を理解する助けになりました。

授業のほかに、台湾にある施設や工場を訪問し台湾の歴史や工業に関し学びました。場所としては、日月潭にある台湾電力の水力発電所、台中市にあるFFG(FAIR FRIEND GROUP, 友嘉實業集團)というメーカーの工場、交流協会(事実上の日本大使館)、知的財産裁判所を訪れ、台湾が日本から受けた影響や台湾の抱える社会問題、台湾の政策、知的財産に関する台湾と日本の違い、台湾の工業について学びました。

日曜日は台湾の学生と台湾北部の観光地である九份に行きました。ジブリ映画「千と千尋の神隠し」のモデルとなった九份はその町並みだけでなく、金鉱跡としても有名です。

## [台湾の学生との交流]

台湾での生活は台湾科技大学の学生の方々によって助けて頂いた面がとて大きかったです。台湾の学生達はとて親切で、学内施設の案内や、休日やアフターファイブの観光案内もしてくれました。九份へ行った際はバスの手配までしていただき、とて嬉しく思いました。

## [留学先での住居]

台湾科技大学にある学生寮の最上階を使わせていただきました。最上階は一般の学生が使う部屋とは違い、高級な部屋となっています。ベッド、エアコン、冷蔵庫、テレビ、シャワー、トイレ、机があり、不自由の少ない生活を送りました。入寮は授業の始まる前日、退寮は最終授業の翌日です。

## [台湾の交通]

空港と台北市間は、桃園空港の場合はバス、松山空港の場合は電車を使うことで移動できます。台北市内の移動は、電車とバスが張り巡らされており便利です。また、SIMカードなどで現地の電話番号を取得している場合は台北市内に設置されているレンタル自転車を使うこともできます。

## [後輩へのメッセージ]

様々な背景を持つ学生を対象として幅広い分野の授業やワークショップがあり、知的財産裁判所や揚水水力発電所へ訪問するなど、貴重な体験ができます。また、台湾の観光をすることもできるので留学をおすすめします。